

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年10月16日

計画の名称	東峰村地域公共交通拠点整備事業												
計画の期間	令和05年度～令和09年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	東峰村												
計画の目標	東峰村は、平成29年北部豪雨により村の交通インフラをはじめ大きな被害を受けた。地域交通の再構築によって地域振興及び地域交通の推進を図るため、筑前岩屋駅、大行司駅、宝珠山駅の3つのBRT 駅舎について、駅舎及びその周辺を整備することで、地域交通の拠点または観光の拠点としての機能を充実させ、地域交通全体の利便性向上と地域の活性化につなげる。駅舎の改修や駐車場整備等のハード事業に加えて観光マップの作成やイベントの開催等のソフト事業に取り組み、村、事業者、地域住民が一体となって効果的な駅舎周辺整備を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	299	A	250	B	0	C	49	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	16.38	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5年10月		R9年度末
1	村内路線(乗合タクシー)の利用者数 村内路線(乗合タクシー)の利用者数 20人/日×365日	0人/年	人/年	7300人/年
2	BRTの村内3停留所利用者数 BRTの村内3停留所利用者数 BRT乗降人数調査 人/日平均×(平日247日・土日祝118日)×5%増≒年間利用者数	19326延人数	延人数	20292延人数
3	住民アンケートにおいて、地域交通に「満足している」と回答した 住民の割合 住民アンケートにおいて、地域交通に「満足している」と回答した 住民の割合 85%	0住民の割合	住民の割合	85住民の割合

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域公共交通再構築 事業	A17-001	地域交通	一般	東峰村	直接	東峰村	—	—	東峰村地域公共交通拠点 整備事業（宝珠山）	交通拠点の駅周辺整備事業	東峰村		■	■				96	1.31	—
	A17-002	地域交通	一般	東峰村	直接	東峰村	—	—	東峰村地域公共交通拠点 整備事業（大行司周辺）	交通拠点の駅周辺整備事業	東峰村	■	■				134	1.31	—	
	A17-003	地域交通	一般	東峰村	直接	東峰村	—	—	東峰村地域公共交通拠点 整備事業（筑前岩屋）	交通拠点の駅周辺整備事業	東峰村	■	■				20	1.31	—	
											小計						250			
											合計						250			

C 効果促進事業																							
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況				
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09							
一体的に実施することにより期待される効果																							
備考																							
地域公共交通再構築 事業	C17-001	地域交通	一般	東峰村	直接	東峰村	—	—	東峰村地域公共交通拠点 整備事業	EVデマンドタクシー導入事業	東峰村		■				49	1.31	—				
		自家用有償旅客運送によるEV乗合タクシーを導入し、本村で生じていた時間的な交通空白を解消、定時定路線型で運行する幹線系統を起点とする二次交通としての機能担う。																					
													小計						49				
											合計							49					

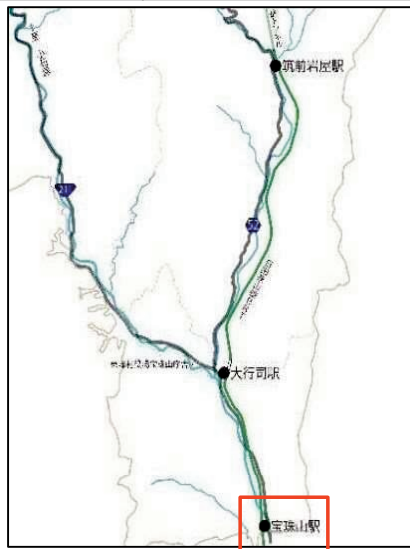
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	9				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	9				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	9				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

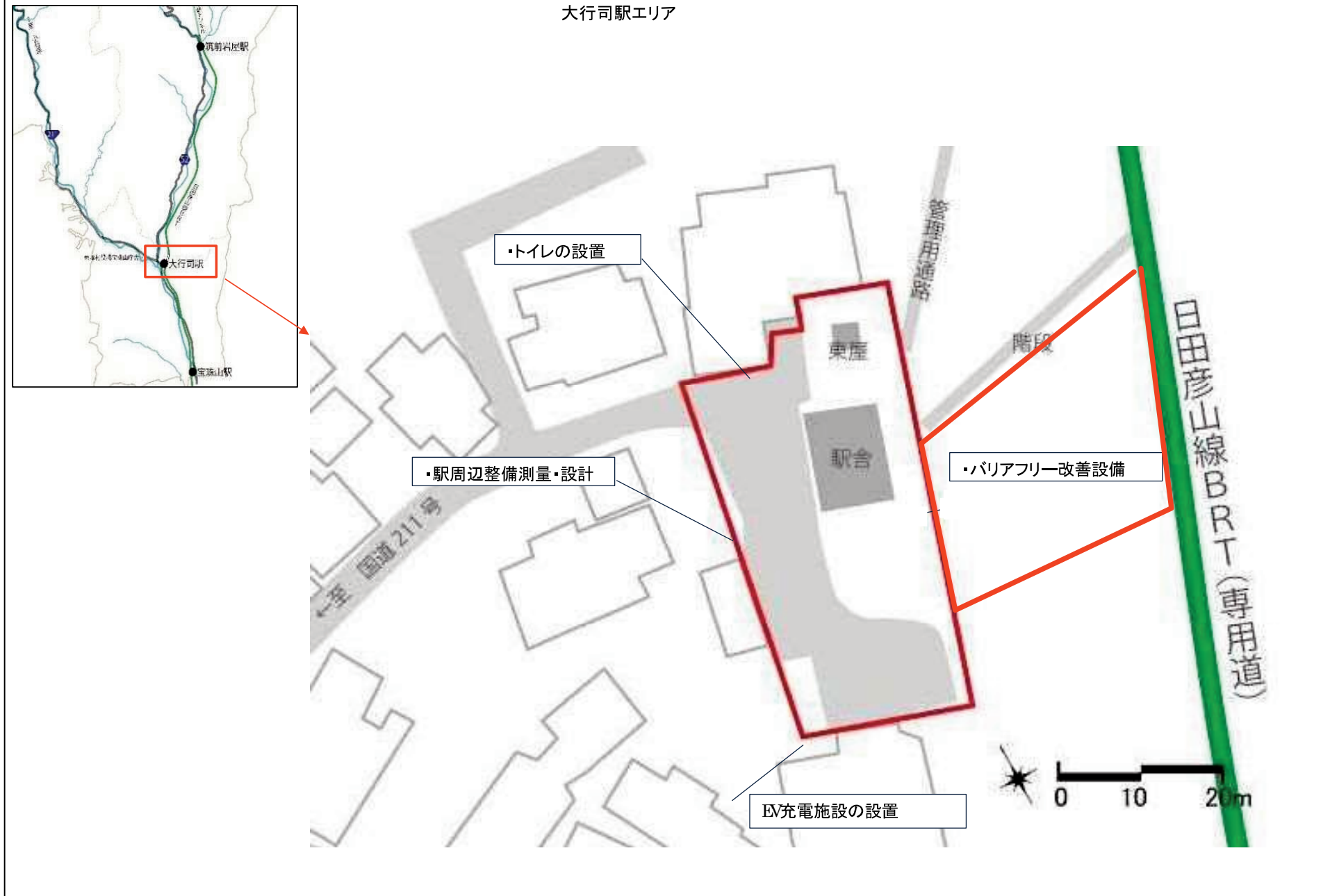
(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	東峰村地域公共交通拠点整備事業 (宝珠山駅)	交付対象	福岡県東峰村
計画の期間	令和5～9年(5か年)		



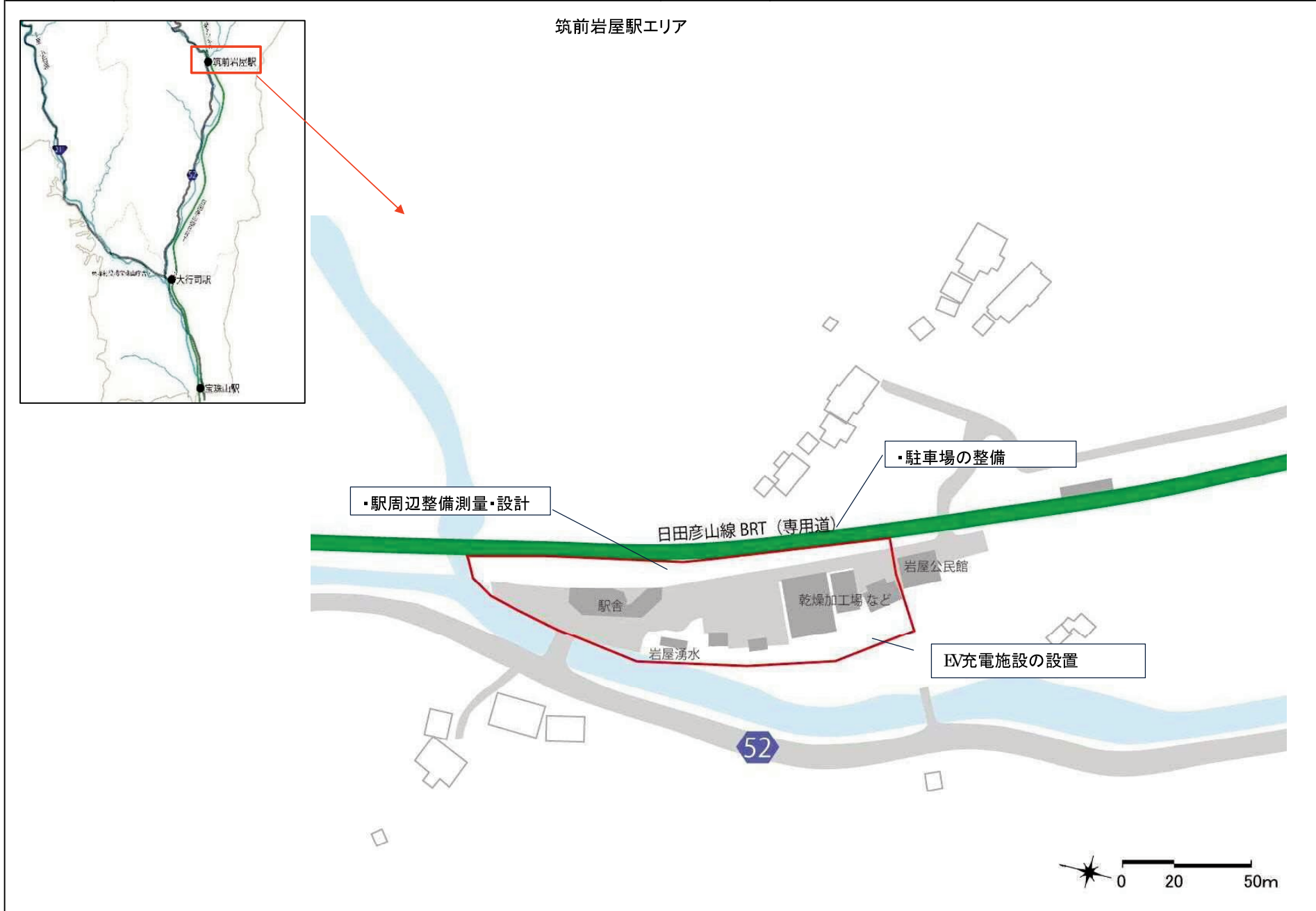
(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	東峰村地域公共交通拠点整備事業 (大行司駅)	交付対象	福岡県東峰村
計画の期間	令和5～9年(5か年)		



(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	東峰村地域公共交通拠点整備事業	筑前岩屋駅	交付対象	福岡県東峰村
計画の期間	令和5～9年(5か年)			



事前評価チェックシート

計画の名称： 東峰村地域公共交通拠点整備事業

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合等 1) 地域公共交通計画その他の上位計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標の客観性・具体性・地域性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標の客観性・具体性・地域性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○